No.77
2026 年
11 月 1 日
その人らしくを大切に
社会福祉法人
すこやか福祉会

住みなれたまちで

東京民医連　ケアフェスタ in 浅草



介護写真展



車イス介助体験



介護の魅力トーク

8 月 22 日、東京民医連介護福祉部会、介護人材確保･職員養成委員会、介護職部会の共催により、「東京民医連　ケアフェスタ in 浅草」が東京都立産業貿易センター台東館で開かれました。すこやか福祉会からも複数の職員が企画･運営に携わり、地域の皆さまへ介護や福祉の仕事を伝える一日となりました。当日は、職員のご家族、高校生、行政関係者など 36 名の一般来場者を迎え、昨年を大きく上回る参加となりました。

会場では、福祉用具の展示･体験、子ども向けのミッション型プログラム、看護師体験、介護食や排泄に関する専門相談などが行われました。子どもたちは、介護クイズや車イス体験、職員へのインタビューなどを通して、介護について普段より身近に感じられたのではないでしょうか。

すこやか福祉会の職員も、来場された方々と直接お話ししながら、日頃のケアや利用者様との関わりを紹介しました。特に「介護の魅力トーク」では、現場で働く職員が就職のきっかけや忘れられないエピソードを語り、利用者様とともに過ごす日々の喜びを伝えました。また、「介護写真展」には 78 点の作品が寄せられ、当法人からも日常のケアの中にある温かな瞬間がたくさん並びました。

今回また改めて、より多くの地域の方に知ってもらうための広報の大切さを感じました。すこやか福祉会は今後も、職員の経験と地域との交流を大切にしながら、介護の魅力を発信していきます。

【人財採用･教育･広報室　川尻　佳司】



介護の食相談





電動リフト体験

第一回 ５Ｓ ビフォーアフターコンテスト 結果発表！

～みんなの「一歩」でもっと働きやすく、愛される事業所へ～

2026 年 7 月に法人内で初となる「すこやか 5S ビフォーアフターコンテスト」を開催しました！各職場にて「整理・整頓（5S）」を実施し、その改善前（Before）と改善後（After）の写真をセットで提出していただきました。単に綺麗になっただけでなく、「どれだけ業務が楽になったか」「工夫した点」を評価対象としました。ここでは、特に多くの支持を集めた【最優秀賞（1 位）】【優秀賞（2 位）】の取り組みの一部を紹介します！

【最優秀賞：小規模多機能サービスよりみちの家】

ビフォー（Before）	アフター（After）
【出迎える気のない下駄箱】   持ち主不明の埃かぶった靴。色の統一感のない下駄箱。玄関は利用者さんを出迎える大事な場所。	【清潔感ある玄関に】  持ち主不明の靴は処分しました。20足くらいありました。下駄箱は DIY で清潔感のある白に塗り替えました。
【来客者に見せられない会議室】  いつ使うつもりで取ってあるのかわからないモノたち。もし貸し倉庫借りたら毎月3万は必要だ。	【不用品処分し整理整頓】  スッキリ！ 来客や実習生に見られてももう恥ずかしくない

【優秀賞：ファミリーケアみさと】

ビフォー（Before）	アフター（After）
【面談室という名の倉庫】 	【休憩にも活用できる面談室へ reborn】 
【ごちゃごちゃな壁面】 	【整理整頓でスッキリ】 

夏休み！

東京都フクシを知ろう！おしごと体験

高校生介護 1 日体験 10 名参加



夏休み期間中に、介護事業所の魅力や業務をお伝えするため、「令和 8 年度フクシを知ろう！おしごと体験」と「高校生介護 1 日体験」を実施しました。合計 10 名の地域の高校生が参加し、すこやか福祉会の各デイサービス　采女の里・さくら草・かなまち・よりみち・みたて、ならびに健和会の老人保健施設　千寿の郷にて、実際の福祉現場を体験してもらう貴重な機会となりました。

最初は緊張していた高校生たちも、職員とのレクリエーションや機能訓練、おしゃべりを通じて自然と笑顔に。リフト・車椅子体験では機械での介助に驚く様子が見られ、送迎時にはみんなで明るく手を振り合ってお見送りを行いました。

参加した高校生からは、「大変な仕事だと思ったが、施設内が笑顔で溢れていて心があたたかくなった」「笑顔で明るい雰囲気だった」「利用者さんに『来てくれてありがとう』と言われて、とても嬉しかった」などの感想をいただきました。

業務で多忙な中、笑顔で快く受け入れてくださった事業所の皆様の温かいご理解とご協力に、改めて感謝申し上げます。　【本部事務局　渡邉　めぐみ】





“所長のこころ”

ファミリーケアみさと　山本 洋子



ファミリーケアみさと所長の山本です。ファミリーケアみさとは、2000 年 4 月の介護保険制度スタート時に開設した老舗訪問介護事業所です。

制度の変遷の中でも変わらないのは、私たちの「その人らしさを大切に思う支援」「在宅生活継続を支える気持ち」です。おだやかに、にこやかに、毎日利用者さんのお宅に訪問を続けています。

独身の頃から働き始め今は子供さんが成人を迎える職員、70 代後半になってもまだまだ利用者さんと触れ合い続けたい職員、みんな訪問介護の仕事が大好きで、自分たちが体調不良の時もお互いにカバーしあいながら働き続けています。

利用者さんも「職員さん同士、仲が良いのが感じられる」「来るのを楽しみに待っている」と訪問を日々の楽しみにしてくれていて、私たちもその気持ちに応えるべく更にがんばるといった相乗効果な毎日です。

私の仕事は職員が働き続けていけるようアシストすること、その時に見合った働き方を提案したり無理な働き方をさせないこと。職員の成長に喜びを感じながら、いつまでも一緒に年を取っていきたいです。





保育だより

『わんぱく day』（運動会）を行いました
八潮かえで保育園



八潮かえで保育園は今年度から運動会を「わんぱく day」に名称変更し、こどもたちの「好きなこと・やりたいこと」を力いっぱい表現できる場を目指しました。

開会式での準備体操「昆虫太極拳」から始まり、年長児の「竹のぼり」では自分で決めた鈴の高さまで登ることに挑戦。「今日は頑張る！」と力強く鈴を鳴らす姿に大きな成長を感じました。保護者の皆様にトラック内に入っていただいた個人競技では笑顔で抱きしめてもらう温かい場面も印象的でした。



最後の年長児リレーでは、負けて涙を流す子、勝って喜ぶ子など様々なドラマがあり仲間と力を合わせる大切さを学ぶ機会となりました。

子どもたち一人ひとりが自分らしく輝ける姿をたくさんの方に応援していただき温かい雰囲気で良い一日となりました。　【八潮かえで保育園　柴田　由紀子】



「夏祭り」3日連続開催で大盛況！
デイサービスセンターみたて



ご利用者さま、ボランティアの学生さんたちと一緒に

今年もデイみたての「夏祭り」を 8 月 20 日・21 日・22 日の 3 日間にわたり開催しました。毎年恒例となった本イベントには、多くの利用者様やご家族、地域の皆さまにご参加いただき、毎日総勢 40 人以上が集まる賑わいとなりました。

ボランティアの皆さまには、学生、社会人、地域の方々など、毎日 10 人以上にお越しいただきました。社会福祉協議会の「夏・ボランティア企画」では、中高生がプレゼンテーションを聞いて参加を決め「介護は初めてだけど、夏祭りでお手伝いできたらいいな」とうれしいお言葉をいただきました。また、福祉大学の学生 4 名、港区の企業、地域の学童クラブ、毎月ボランティアで来られる美容系の方々、すこやか福祉会の職員など、多彩な方々がゲームの担当や運営を支えてくださいました。学童クラブからはカキ氷機の貸出もあり、イベントをより盛り上げることができました。

多くのボランティアの皆さまの協力があってこそ、大成功につながったと感じています。来年も同様に盛り上げていきますので、こちらの記事をご覧になった方は、ぜひご連絡をお待ちしています。

【デイサービスセンターみたて　所長　湯田　達也】

